給与改善・定年制延長要求や介護などで多様な働き方も切実な要求

＝処遇の改善と培った経験を公務に生かせる再任用に＝

国土交通省管理職ユニオンニュース

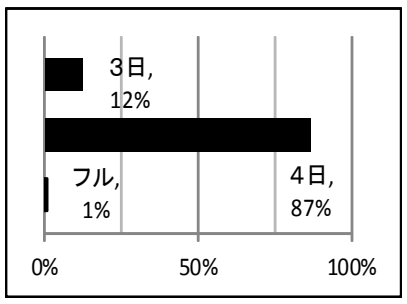
ＮＯ．３０２
2017．11．16

発行
国土交通省管理職ユニオン
所在地
東京都千代田区霞ヶ関 2-1-2　中央合同庁舎２号館
TEL 03-3509-1138
E メール
k-union@alpha.ocn.ne.jp
ホームページ
http://www.k-union.network/

管理職経験者の再任用者を対象として、今年８～９月に実施した「再任用アンケート」は、対象者の約６５％から回答を得ることが出来ました。アンケートに反映された業務執行や処遇上の問題点を把握し当局に要求していくとともに、６０歳以降の働き方についての要求に反映していきます。

再任用アンケート特集号

事・指導官	238
事・主任指導官	11
局・指導官	2
局・主任指導官	3
係長	1
地理・指導官	6
地理・主任指導官	2
不明	2
合計	265

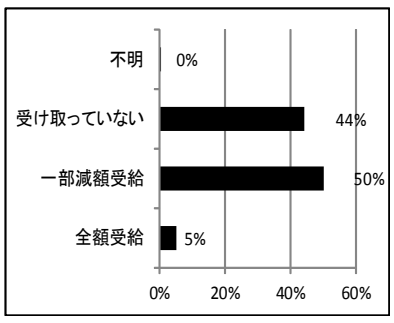


男	261
女	4
不明	0
計	265

技官	185
事務官	79
不明	1
計	265

（設問１）基本事項

アンケートにご協力ありがとうございました

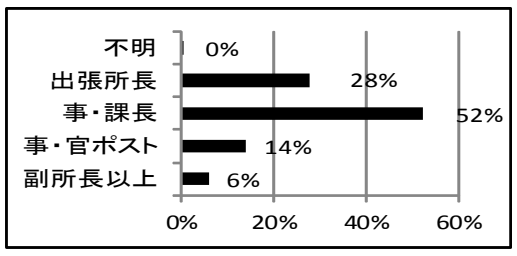


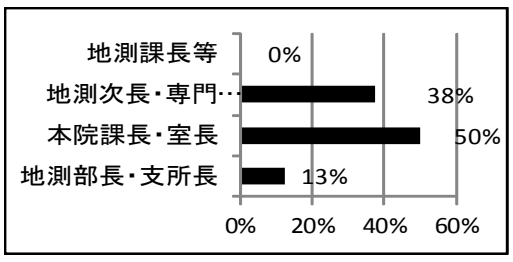
■年金約半分お数かが職員無職

■勤務地が全国で１７地整

■勤務日は８４％が７４％

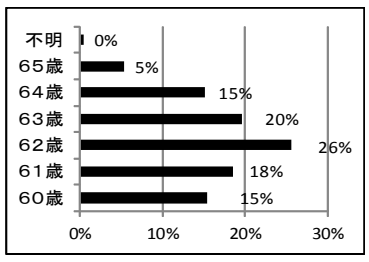
■年齢分布をみると６１％ありますが、３４％が６５歳



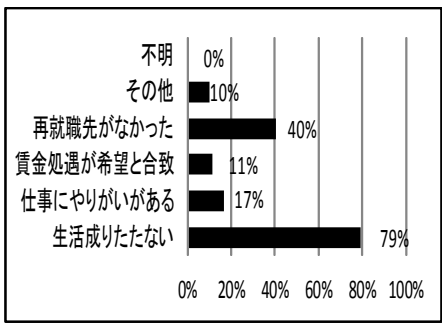


格付け

５級以上	15	6%
４級	244	92%
３級	2	1%
不明	4	4%
計	265	100%



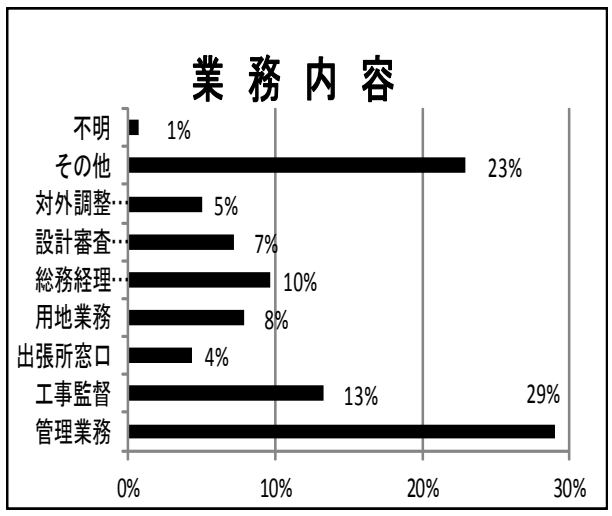
再任用選択理由



（設問２）希望勤務形態

８割が生活が成り立たないため

■「生活が成り立たない」が７９％を占め大多数が生計を維持するために再任用を選択しています。

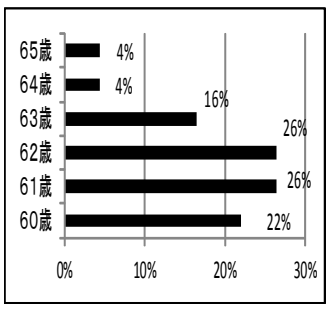


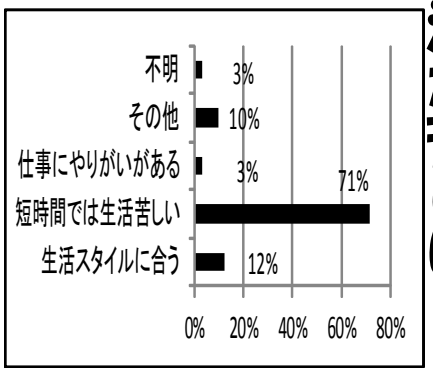
■業務内容は事務官の多くが「用地」「管理」「総務経理」業務に従事し、技官の多くが「その他」「管理」業務に従事しています。

フル希望の理由

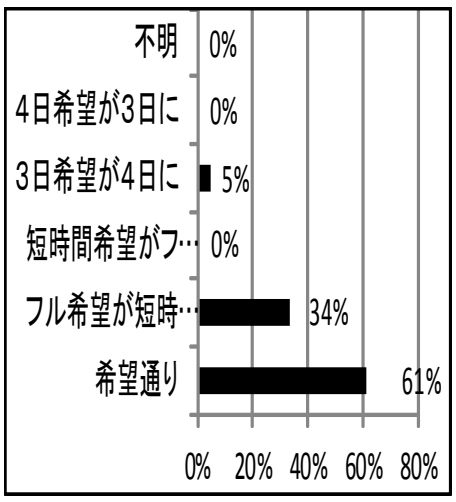
■フル希望は９１％が、そのうち７６％が「生活スタイルに合う」としています。

■「短時間では生活が苦しい」が１２％で苦しいとまみなる分布をの





短時間では生活が苦しい

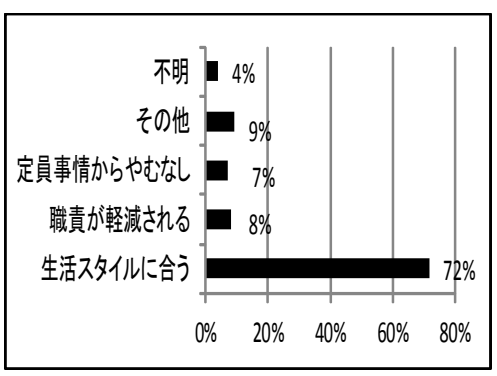


■「希望通り」が６１％ありますが、３５％がフルタイムを希望しながらも意に反して短時間勤務となっています。また、４日希望が３日勤務となった場合はありませんが、３日希望が４日勤務となっている場合があります。

希望通りの勤務形態か

■その他では健康や介護の為などの回答がありました。

短時間希望理由



■短時間希望の理由は「生活スタイルに合う」が７２％で多様な働き方を反映しています。■「その他」として介護や農作業、健康状態、年金の減額などがあげられる一方「フル採用はない」と言われたためなどがあります。

生活スタイルに合っている

■その他では「フルタイムが原則だから」「４４年特例で年金の満額支給を受けるため」などとなっています。

いることが考えられます。

（設問３）業務に関して

最適な業務は現役時の知識経験を生かせる業務

■大多数が現役時に培った経験と知識が活かせる、継承できる業務としています。まとめると概ね次のような業務内容です。

▼対外的な対応（地元協議等）
▼用地交渉等
▼管理業務（行政相談、窓口業務、現地立会）
▼監督業務
▼業務成果の審査
▼入契・技術審査

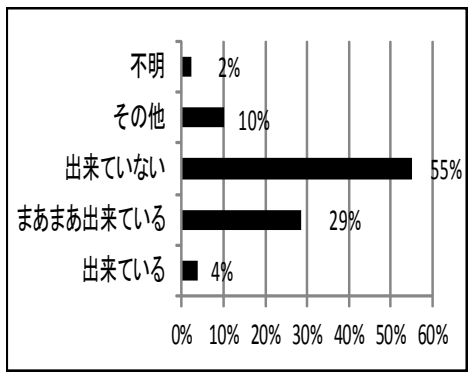
などが具体的業務として挙げられています。そのほか課長や出張所長等の補佐的な業務、自分の判断でできる業務などがあります。

（設問４）処遇について

現在の生活実態は

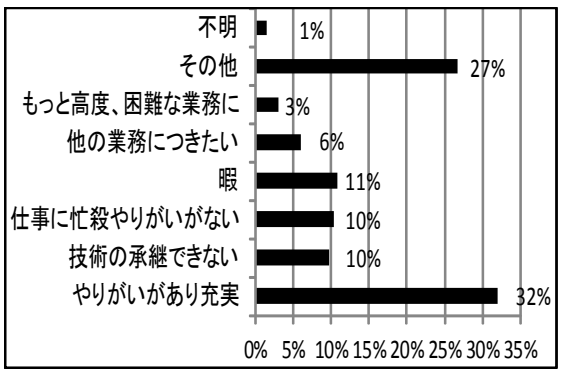
■６０％を超える人が苦しいとしています。年金が特例支給されている場合や無年金でかつ退職後１年の場合など、それぞれが違いもありますが、大半が苦しいとしています。

技術の継承できているか



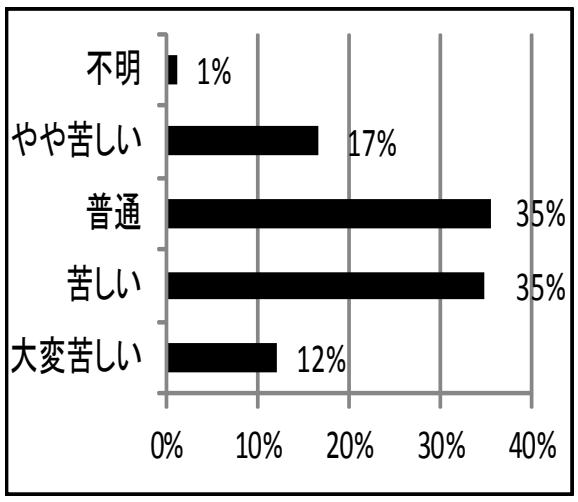
■技術の継承が出来ていないが半数を超えていますが、「出来ている」「まあまあ出来ている」を合わせると３３％あり、それぞれの現在の業務内容と関連していると思われます。

業務どう感じる



■「やりがいがあり充実」と感じている３２％の一であり、三分の二が現在の業務に何らかの不満を抱いています。

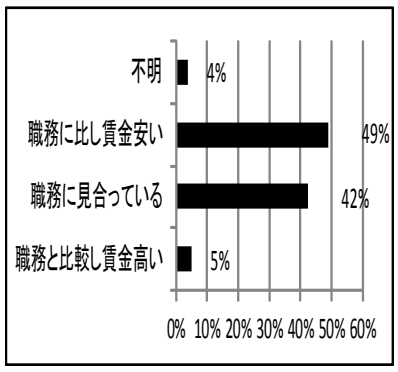
収入は退職時の５割以下に



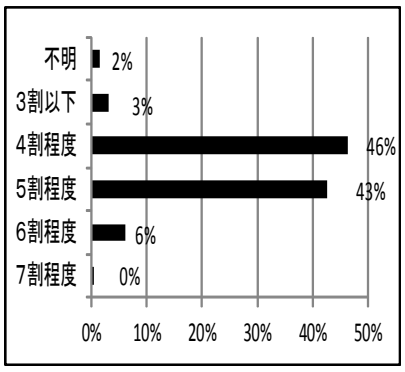
■退職時の収入と比べ「５割から４割程度」に低下した人が約９０％となっています。

■苦しい生活実態を考えると賃金に対する不満は強いものになっています。

賃金と職務について

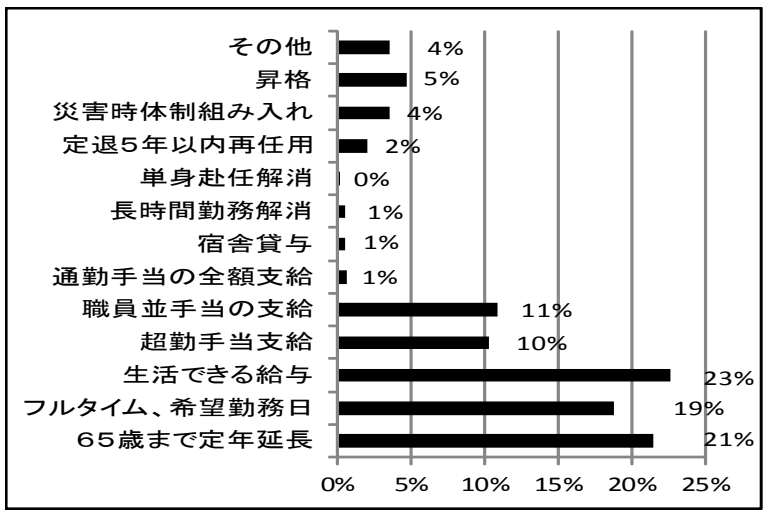


退職時の収入と比べて



■「職務に比し賃金が安い」と感じている人が４９％いると同時に「職務に見合っている」と感じている人も４２％います。

処遇で改善すべき点



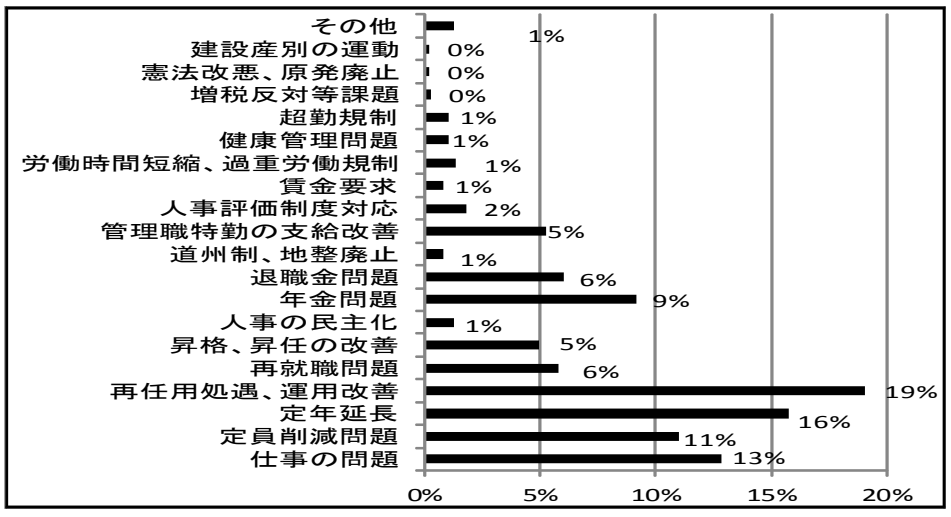
生活できる給与、定年延長が切実

■改善すべき点は「生活できる給与」が一番多く、次に定年延長が多くなっています。

■フルタイム希望に応じた勤務日を求める声も多く、短時間勤務など多様な働き方を求めていることがわかります。

ユニオンの今後取り組む運動について（設問５）

「再任用の処遇改善、運用改善」に取り組むことが重要



■「再任用の処遇改善」「定年延長」「仕事の問題」「定員削減」が今後取り組む運動の上位にきています。昨年実施した管理職員等アンケートと比べても上位は同様な項目となっています。

再任用に関わる その他の意見（一部）

▼フルタイム採用と仕事のやりがいを重視してほしい。

▼知識と経験を活かし責任ある業務につかせることが大事。

▼仕事と給与が違いすぎる。現役の時以上に仕事が多い。

▼３日から４日勤務にしたが、社会保険料が高く、年金が減額され割に合わない。

▼若手職員が減り、仕事の進め方、設計業務審査、工事監督など伝承できず、その結果技術力の無い発注官庁となっている。

▼ユニオンから当局に再任用者の切実な声を聞くよう働きかけてほしい。

▼年度末に休日出勤したが年度を超えて振替できないためサービス残業となっている。是非解消を。

▼再任用の賃金実態や年金額の少なさを現職にアピールする必要がある。

▼民間への再就職と再任用では死活的な差がある。

▼定削で事務所、出張所は再任用と５０歳以上の職員、これでは技術の伝承などあったものではない。

▼４日勤務で現役係長と同様の仕事をしているが給与が半額以下では納得できない。補完的業務でないので給与を上げるべき。

▼形骸化している人事評価を再任用者だけでも廃止してほしい。

▼フルタイムもなく今年度から３日勤務も採用されていない。個人の希望する勤務日数での採用も必要。

▼再任用者の活用について、担当部署任せでなく事務所全体で業務内容を決めてほしい。

▼業務が多くサービス残業が当たり前になっている。

▼指導官という役職が曖昧。それぞれの職場で都合良く使われている。